

これまでの部会・全体会における主な意見（平成 27 年度）

【次世代育成に関すること】

項目	主な意見	区役所の回答
安心して子育てできる環境づくり	・戸別訪問型等児童虐待防止啓発活動の実施 27 回はどのような活動か。 ・児童虐待防止のためには、児童虐待のサインをくみ取ることが重要だが、そのためにはもっと具体的な事例の広報が必要ではないか。 ・待機児童は、現在、何人くらいいるのか。 ※待機児童：申込数から入所数を引いた人数（入所保留児）のうち、育休中や特定園希望者等を除いた人数 ・新規保育所の開設場所について、区役所が決定しているのか。	・各地域の主任児童委員と子育て支援室の職員の連携のもと、啓発物品等を活用し、各戸別訪問による児童虐待防止の啓発活動を実施するほか、防災訓練等のイベント時においても啓発活動を行った。 ・区民向けには、個別ケースの情報は開示できないが、地域でのイベント等で、地域と連携し児童虐待の防止について啓発活動を実施し、関係機関とも連携して早期の情報収集に努めている。 引き続き、地域と連携し、よりわかりやすい啓発活動等に努める。 ・鶴見区は待機児童はゼロ。 ただし、入所保留児は平成 27 年 4 月 1 日現在で 135 名、9 月 1 日現在で 260 名となっている。 ・開設場所については局と区で協議をして、区内の公募対象地域を指定している。事業者がその地域内で開設場所を見つけ、応募したものの中から、大阪市が開設事業者を選定する。

子ども・青少年の健全育成	・イベントへの保護者の参画について、具体的な施策や計画があるか。 ・子どもたちは、クラブ活動や年6回の土曜授業があり、土日のイベントには参加しにくい。出やすくすることも大事なのではないか。 ・中学校総合文化祭になどは周知が少し遅い。回覧を回すには時間もかかる。 ・部活をしている子どもの交通費が高く家庭への負担が大きい。区のバスがあるなら回すなど、何らかの対応ができないか。	・保護者が参加してもらえるよう、広報活動を積極的に行っていききたい。コンサートなどは子どもが出演すれば親は見に来ることが多いし、今年度は、英語スピーチコンテストなどを企画し、参加しやすいものにしたい。 ・いただいた意見も踏まえて検討していききたい。 ・少しでも早く周知できるようにしていききたい。 ・区でバスは所有していない。難しい問題であるが、検討課題ということでお聞きしておきたい。
学校と社会を結ぶ	・出前授業について、いろいろな所から依頼があるが、単に学校と企業を結ぶのではなく、学校の教育過程と結びつけていくと深みが増し受けやすくなる。	・出前授業については、以前から教育カリキュラムと関連させた形でお聞きしており、今後もその主旨に沿って、やっていききたい。子どもたちも興味が増すよう企画していききたい。